

2020（令和2）年度 事業報告

自 2020（令和2）年4月 1日

至 2021（令和3）年3月31日

I 事業概要

2020（令和2）年度は、通常事業の他、重点項目を次のとおり設定し、実施した。

1. 適正飼養の普及啓発を行う指導者の増加対策

- ① 愛玩動物飼養管理士などの指導者養成事業にかかる広報の拡大展開（ウェブ広告、雑誌広告、専門学校への周知、企業タイアップ、インフルエンサーの活用、SNS公式アカウントの運用等）。
- ② 愛玩動物飼養管理士の活動実績等の顕彰制度として創設した上級愛玩動物飼養管理士制度の着実な運用。

2. 愛玩動物飼養管理士教育を補完する養成システムの総合的な体系づくりによる適正飼養の普及

- ① ペットオーナー検定の受験者の増加対策及び運用改善。
- ② 各種ペット関連団体を対象にした適正飼養の普及啓発活動推進のための支援事業。
- ③ 機関誌の内容の充実、図書館等の関係各所への機関誌の配置。
- ④ ペットの実践的飼育手法を教育する愛犬飼育スペシャリスト及び当年度末から始動をした愛猫スペシャリストの事業推進。
- ⑤ ペット共生住宅の整備及び管理運営方法の適正化をするための事業の推進と、ペット共生住宅管理士制度の推進。
- ⑥ 適正飼養の普及啓発指導を行うことができる人材を育成するための愛玩動物飼養管理士教育を補完するその他の各種教育事業の継続的な検討。
- ⑦ ペットの実践的な飼育手法を広く啓発するための各種書籍の頒布。

3. 適正飼養の普及啓発を効果的・効率的に実施可能な組織体制の整備

- ① 部課制に移行した事務局及び業務執行理事会を中心とした事務の執行体制の着実な運営。
- ② 全国31都道府県に所在する当協会の認定連携団体へ、各々の地域に密着した適正飼養の普及啓発活動を委託して実施。

- ③ 新型コロナウイルス＜COVID-19＞感染症拡大防止対策のマニュアルの作成と対策実施の徹底をはじめとする着実なBCP（事業継続計画）の推進をした。
- ④ 「オンライン（且つオンデマンド）形式のスクーリング」、また、受講受験生向「マイページ」等の稼働による業務の効率化を図り、ICT（情報通信技術）の開発を促進し、実行した。
- ⑤ 人材会社を利用した人員補充のシステム化及び災害時等のリスク分散を図るための諸体制を維持した。

II 事業内容

1. 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発事業

1-1 国及び地方自治体の事業への協力

(1) 環境省等の関係行政機関が主催する動物愛護週間行事等への協力

① 動物愛護週間ポスターの配布

環境省が作成した動物愛護週間ポスターを動物専門学校及び各都道府県愛玩動物協会等に配布し、動物愛護精神の高揚を図った。

② 中央行事：どうぶつ愛護フェスティバル

9月26日（土）に環境省、東京都、台東区、本協会を含む動物愛護関連公益法人等によって組織された動物愛護週間中央行事実行委員会の主催による「動物愛護フェスティバル」を「人も動物も幸せに～考えよう、共にくらす社会～」のテーマのもとに、無観客での屋内行事をWeb（YouTube）でのライブ配信により開催をした。

<屋外行事>

10月3日（土）の開催に向け準備をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見込めず、屋外行事は中止となった。

<屋内行事>

9月26日(土)に台東区生涯学習センターミレニアムホールにおいて、各団体の動物愛護作品の表彰、講演、パネルディスカッションをライブ配信によるオンラインで開催した(ライブ配信視聴回数1,317回)。

(2) 関係地方自治体の動物愛護センターや保健所等が行う普及啓発事業への協力

今期においては、新型コロナウイルス感染拡大の問題から、地方自治体が実施する講習会等が開催されなかった。

1-2 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発を行う指導者の養成と教育

(1) 愛玩動物飼養管理士通信教育事業の実績

2級愛玩動物飼養管理士(40期)及び1級愛玩動物飼養管理士(36期)の通信教育を実施した。愛玩動物飼養管理士の新規受講受験申込者数は11,712名であり、前年度比は119.3%(1,891名増加)。最大受講受験者数があった平成19年度(12,695名)との比較では92.3%(979名減少)であった。

内訳は、一般/個人の新規受講受験申込者数は5,605名で前年度比148.0%(1,817名増加)、企業の団体新規受講受験申込者数は99名で前年度比170.7%(41名増加)、スクールの団体新規受講受験申込者数は6,008名で前年度比100.6%(33名増加)であった。

級別新規申込者数		申込枠別の新規申込者数と全体の構成比		
申込級	新規申込者数	申込枠	新規申込者数	構成比(%)
1級	1,492(112)	個人申込	5,605(2,239)	47.9%(64.2%)
2級	10,220(3,375)	団体申込 企業	99(24)	0.8%(0.7%)
準2級	募集停止	団体申込 スクール	6,008(1,224)	51.3%(35.1%)
計	11,712(3,487)	計	11,712(3,487)	100%

(カッコ内は夏期申込における新規申込者数)

2) 2020(令和2)年度認定試験の実施(11月、2月)

春期申込の試験は11月22日(日)、一般会場39会場、独自会場10会場、夏期申込の試験は2月28日(日)、一般会場12会場、独自会場15会場で実施した。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止対策として試験運営マニュアルを作成。受験者及び試験官の安全確保に向けた取り組みとして、試験を二部制で実施し、試験教室内の収容人数を半減することで対応した。

受験級	受験資格者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
1 級	1,662 (244)	1,542 (200)	1,190 (99)	77.2
2 級	11,422 (4,105)	10,355 (3,620)	8,698 (2,944)	84.0
計	13,084 (4,349)	11,897 (3,820)	9,888 (3,043)	83.1

(カッコ内は令和3年2月認定試験の内数)

(2) 愛玩動物飼養管理士養成制度の指定校・採用校、企業との協力

① 学校法人等との協力（指定校・採用校）

愛玩動物飼養管理士養成の新規の採用校は5校、新規の指定校は0校であり、結果として愛玩動物飼養管理士養成採用校は113校、このうち愛玩動物飼養管理士養成指定校は27校であった。

<新規の採用校>

クラーク記念国際高等学校東京キャンパス、学校法人鈴木学園中央動物総合専門学校、専門学校東京スクール・オブ・ビジネス、沖縄県立南部農林高等学校、大阪ドッグサイエンス学院

<参考：既存の指定校>

沖縄ペットワールド専門学校、学校法人穴吹学園穴吹動物専門学校、学校法人宮崎総合学院宮崎ペットワールド専門学校、河原アイペットワールド専門学校、京都動物専門学校、広島情報ビジネス専門学校、盛岡ペットワールド専門学校、群馬県立勢多農林高等学校、沖縄県立中部農林高等学校、学校法人吉田学園吉田学園動物看護専門学校、学校法人大阪ビジネスカレッジ専門学校、学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校、国際ペットワールド専門学校、専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー、横浜トリミングスクール、学校法人東京愛犬学園東京愛犬専門学校、学校法人高橋学園札幌どうぶつ専門学校、学校法人孔明学園東北愛犬専門学校、群馬動物専門学校、学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校、専門学校ちば愛犬動物フラワー学園、ナンバペット美容学院、名古屋スクールオブビジネス、専門学校穴吹動物看護カレッジ、学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ、東京都立園芸高等学校、岡山理科大学附属高等学校

② 企業取りまとめによる受講受験申込

次の9社より企業取りまとめによる受講受験申し込みがあった。

<新規の企業>

有限会社スーマース

<既存の企業>

エコートレーディング株式会社、株式会社 AHB、ジャペル株式会社、イオン九州株式会社、株式会社サンデー、株式会社ユーホー、西村ジョイ株式会社、株式会社ジョイフルエーカー屯田店

(3) ペットオーナー検定

飼い主に対する初歩的教育及び愛玩動物飼養管理士への導入教育としての「ペットオーナー検定」を、インターネット上での申込受付、受験として実施した。

受験者は 385 名（犬コース 179 名、猫コース 47 名、犬猫同時受験 159 名）、テキストのみの購入者は 33 名であった。

なお、ペットオーナー検定受験者 385 名における協会会員加入者数は 54 名であった。また、これまでのペットオーナー検定受験者 2,856 名における愛玩動物飼養管理士への受講受験申込者数は 589 名であり、21%の導入教育効果が認められた。

(4) ペットの実践的な飼育方法の教育

愛玩動物飼養管理士教育を補完するため、ペットの実践的な飼育方法に関する教育を実施した。犬の飼育にあたって必要な実践的な方法を学ぶことができる「愛犬飼育スペシャリスト講座」を引き続き実施し、今年度の申込者数は 1,343（昨年度 895）名であった。これまでの申込者数の累計は 5,269 名で、合格者は 2,878 名（55%：ユーキャンの一般的な通信教育における最終（合格）到達率は 60%内外）。

なお、受講生の募集や受付、教材の発送などの業務はユーキャンへの委託方式で実施した。

また、「愛猫飼育スペシャリスト」のテキストや添削課題などが完成し、2021 年 2 月から開講した。3 月 31 日までの申し込み件数は 845 名で、合格者は 116 名となっている。

(5) 犬と猫との暮らしの教科書

社会全体としての適正飼養の確保及び推進を図るためには、関係する行政はもとよりペット関連産業従事者をはじめ、動物関連学校生、そして一般の飼い主向けに最新で包括的な情報の伝達と教育が重要である。このため、ペット飼育に関する広範な知識・情報を解説できるようにするための書籍として、『犬と猫との暮らしの教科書』（2,800 円・税別・送料込み）を発行し、一般・学校向けに頒布した。

2020（令和 2）年度の販売数は 140 部であった。

(6) ペットの飼養管理

各種動物の実践的飼養管理方法をまとめた『ペットの飼養管理』（3,600円・税別・送料込み）を発行し、一般向けへ頒布しているほか、2020（令和2）年度からの2級愛玩動物飼養管理士の副教材としても活用している。当年度の販売数は30部であった。

(7) 人と動物が共存する社会環境基盤整備

① 適正な飼育環境の整備

ペットの適正飼養を推進するためには住環境等の社会環境基盤整備を図ることも重要であることを踏まえ、愛玩動物飼養管理士教育の補完を図るために、ペット共生マンションなどの整備及び管理運営方法の適正化を推進するための『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』及び集合住宅向けの『飼い主のマナーハンドブック』の頒布や、ペット共生住宅の実現を目指す広がり（動き）を支援するための「ペットフレンドリーホーム宣言（人とペットの豊かな暮らし宣言）」の募集を行った。宣言団体は現在のところ以下の13企業・団体となった。

<宣言団体>

株式会社アドバンスネット、ハウスリーフ株式会社、オンコ株式会社、アニコム損害保険株式会社、一般社団法人ペットライフデザイン協会、旭化成ホームズ株式会社、タマホーム株式会社、株式会社住宅工営、株式会社B-PLANNING、株式会社アパートマン、有限会社トヨミツ、一般社団法人ペットインテリア協会、株式会社西武ペットケア

② 適正な飼育環境整備のための知識の普及

『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』、『飼い主のマナーハンドブック』、『ペット共生住宅管理士 理論と実践』の3冊をテキストとする「ペット共生住宅管理士」の検定試験においては、2020（令和2）年度における申込人数は150名、累計合格者は209名となっている。

③ ペットツーリズムにおける適正飼養の確保

ペット・ツーリズムにおける適正飼養の確保等を図るため、昨年度に引き続いて全国ペットツーリズム推進連絡協議会の事務局運営を行った。

(8) 愛玩動物飼養管理士認定委員会・教材等

① 教本の編集

2021（令和3）年度教本の編集作業を行った。

② 課題報告問題・認定試験問題の編集

最新版の認定試験問題集の中から、認定試験問題を選定し、印刷の準備を進めた。また、2021（令和3）年度教本の内容に合わせて、課題報告問題と認定試験問題の見直し作業を行った。

③ スクーリング

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として会場形式のスクーリングからオンライン（オンデマンド）形式のスクーリングに変更して実施することとした。

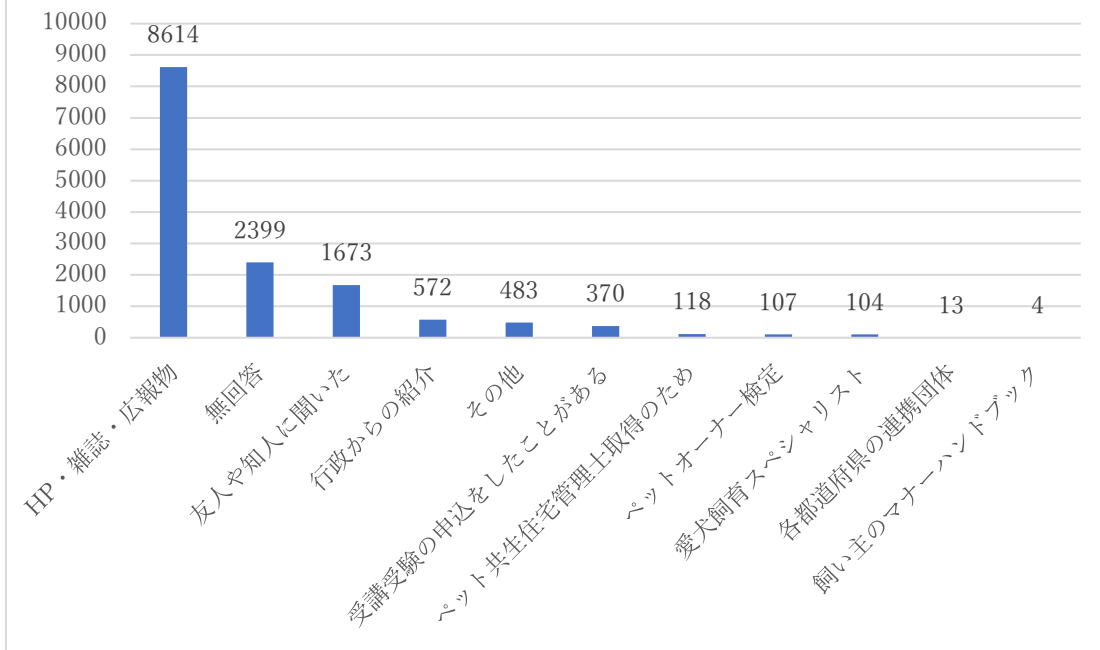
(9) 愛玩動物飼養管理士事業の広報

- ① 募集要項パンフレットを見やすく理解のしやすいデザインにするべく、一般用・スクール用共に見直しを行った。
- ② HPのコンテンツ改善とメンテナンスを適宜実行し、閲覧者に見やすく理解しやすいものに整備を行った。今年度は、約24万ユーザーからの訪問があり、約91万ページの閲覧があった。
- ③ 常時リスティング広告を行っており、検索ページにおいては概ね上位表示がされるような取り組みをした。また、愛玩動物飼養管理士申込期間には、認知を拡大するためにディスプレイ広告も実施した。
- ④ SNSを利用した広報として、人気インスタグラマーを活用し、「私は愛玩動物飼養管理士を受験します（実際に受験）。合格しました。非常に有益でした。」といった「口コミの広報」を継続。また、公式インスタグラム、ツイッターからの情報発信により、本協会や愛玩動物飼養管理士の認知の拡大を図った。
- ⑤ アフィリエイト（ブロガーの紹介告知力を活用した成功報酬型広告）による広報も実施した。
- ⑥ リスティング広告や広告出稿先ウェブサイトからのリンク先として、「愛玩動物飼養管理士（受験）とは」を解りやすくまとめた「ランディングページ（LP）」を新たに設置し、資料請求を容易にすることで、その数の増加を図った。
- ⑦ 従前の通信講座やスクールの紹介サイト「BrushUP 学び」に加え、動物に関する資格を紹介する「動物資格ネット」での広報も開始した。

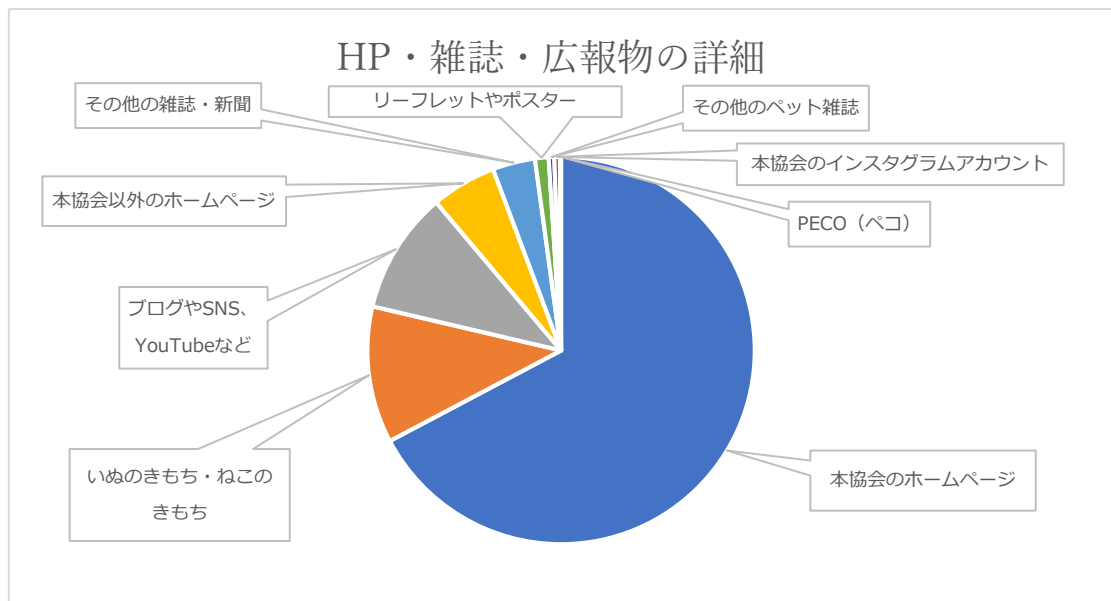
【参考】

今年度の愛玩動物飼養管理士募集要項請求のきっかけの実態データ（N=14,457）

資料請求のきっかけ



HP・雑誌・広報物の詳細



(10) 動物愛護管理制度のあり方に関する検討

動物愛護管理法の改正を受けて、適正飼養の普及啓発がより一層推進されるようにするための施策に関する関係機関との調整等を行った。また、愛玩動物看護師が国家資格として新設されたことによる愛玩動物飼養管理士制度の独自性、差別化などを勘案しながら、今後のあり方に関して引き続き検討した。

(1 1) 上級愛玩動物飼養管理士の認定

ペットの適正飼養の普及啓発に関する実践的な活動の成果を顕彰するため、更新（第3期）3名と新規（第6期）4名の合計7名を、上級愛玩動物飼養管理士に認定した。

（令和3年3月31日現在での上級愛玩動物飼養管理士数 139名）

1-3 調査研究及び情報の収集、提供

閲覧室の蔵書の収集と提供

各種文献・学術論文等の収集と提供を行った。

1-4 相談会、講習会、講演会、展示会及び調査研究発表会等の開催

(1) 電話やメールによるペット飼養相談の受付

電話やメールなどによるペット飼養に関する相談への対応を20件行った。

(2) 第40回全国ペット写真コンテストの開催

人とペットとのふれあいの楽しさ、動物愛護の心などが表されている写真を通じて、写す側、鑑賞する側双方の動物愛護精神の涵養を図ることを目的として、一般公募方式により「第40回全国ペット写真コンテスト」を実施した。また、今年度より、インスタグラムによる応募も受け付けを開始した。

環境省、（一社）ジャパンケネルクラブ、（一社）ペットフード協会の後援のもとで実施し、352点の応募作品（応募者数206名）より12点の入賞作品が審査会において選出された。

上位入賞者の表彰は9月26日（土）に中央行事屋内会場（台東区生涯学習センターミレニアムホール）において行い、受賞者には、賞状及び副賞として賞金、入賞作品をプリントしたトートバッグを送付した。また、入賞作品は、屋内会場および屋外行事会場に展示する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
ペット大賞・環境大臣賞	やさしいまなざし	小齊 玲	5万円
推選（ジャパンケネルクラブ賞）	ともだち	大倉 卓也	3万円
推選（ペットフード協会賞）	いつも一緒	川分 敬子	3万円

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
推選（日本愛玩動物協会賞）	二人は心友	佐藤 あかね	3万円

なお、過去の入賞作品パネルについては、全国の動物愛護週間行事で展示される等の活用が図られた。展示先は次のとおりである。

- ・鹿児島県、郡山市、北海道室蘭市胆振（いぶり）総合振興局

1-5 調査研究活動への助成

2020年度助成対象者（計2件、100万円）への助成を行った。

研究名	氏名	所属	金額
愛玩鳥の餌における真菌感染の状況からみるペットフードの安全性担保	佐々 悠木子	東京農工大学	50万円
ペット信託に関する法律の日米比較	吉田 聡宗	一橋大学大学院法学研究科	50万円

また、2021年度助成対象者の審査会を開催し、以下のとおり助成候補を選定した。

研究名	氏名	所属	金額
社会化目的の仔犬教室または服従訓練を受けた飼い主が将来的に発生する問題行動に関するインターネット調査	伊藤 かおる	北里大学獣医学部 動物資源科学科 動物行動学研究室	50万円
災害時の「ペット同行避難」の阻害要因に関する基礎的研究	壽崎 かすみ	龍谷大学 国際学部	30万円
獣医療におけるペットと飼い主の抱えるグリーフに配慮したケアを実践するためのアプローチ法の検討	小野沢 栄里	日本獣医生命科学大学	40万円

1-6 機関誌等図書印刷物の刊行

(1) 機関誌『愛玩動物 with PETs』の発行

機関誌（隔月発行）を作成して会員に配布するとともに、関係自治体や全国の図書館への寄贈を行った。なお、各号の特集テーマは次のとおりである。

号	テーマ
273号（5月号）	産業動物を知る

号	テーマ
274号（7月号）	十二支から見た人と動物の関係
275号（9月号）	「適正飼養」の普及活動を考える
276号（11月号）	ペットを病気から守るには
277号（1月号）	「動物文学」と動物愛護思想の普及啓発
278号（3月号）	動物の血統書と血統管理

（2）啓発パンフレット等の作成、頒布

次のとおりパンフレット等を作成、頒布した。

種別	部数
ポスター	1,100部
リーフレット	15,000部
書籍カタログ	300部

（3）公益社団法人日本愛玩動物協会 設立四十周年記念誌「四十年のあゆみ」を編集・製本をし、全国の関係自治体、関連団体、正会員等に寄贈した。

1-7 会員

会員の新規募集及び継続入会の呼びかけを行い、3月31日現在の一般会員数は、個人会員が11,978人（昨年度末より160人増加）、団体会員が29団体（昨年度より2団体増加）であった。

なお、会員特典は次のとおりである。

概要	協力企業等
書籍の割引販売	株式会社エデュワードプレス
もういちど学ぼうプロジェクトの割引受講	本協会
トリミング・ペットホテル料金の割引	株式会社西武ペットケア
「休暇村」の本館、コテージ、キャンプ場利用料の割引	休暇村協会
全国のプリンスホテルの施設（ホテル・ゴルフ場・スキー場など）の優待利用	プリンスホテル
年会費の税額控除	内閣府
富士急行株式会社関連施設利用料の割引	富士急行株式会社

1-8 寄付金

協会のホームページ等を利用した寄付金募集を実施した。

当年度の寄付金は91,960円であった。

1-9 認定連携団体（各都道府県愛玩動物協会）等の各種プロジェクト活動への支援

(1) 認定連携団体（各都道府県愛玩動物協会）

認定連携団体の活動への支援を以下のように実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上期は行事の開催を自粛すること、下期はオンラインを中心とした活動を行うことを各認定連携団体へ要請した。

団体名	所在地	分野	支援金額
全国31認定連携団体 (※)	全国31都道府県	当協会定款第4条に定める事業の一部を都道府県単位で展開	21,226,441 円

※ 31 認定連携団体の認定状況 2020年（令和2）年4月1日始動時点

ブロック	認定連携団体のある都道府県
北海道・東北 (5)	北海道、青森県、宮城県、秋田県、福島県
関東 (6)	茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部 (5)	富山県、福井県、長野県、山梨県、愛知県、
近畿 (4)	三重県、大阪府、奈良県、和歌山県
中国・四国 (6)	鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、愛媛県、高知県
九州・沖縄 (5)	福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
計： 6ブロック／31団体	
認定連携団体のない府県(16)： 岩手県、山形県、栃木県、新潟県、石川県、岐阜県、静岡県、滋賀県、京都府、兵庫県、島根県、山口県、香川県、佐賀県、熊本県、大分県	

また、以下の支援も行った。

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた「新活動様式のガイドライン」の作成
独立団体である認定連携団体の今年度の活動のあり方をガイドラインにまとめ、各認定連携団体へ配布をした。

- ② 認定連携団体（代表）全国会議
 - ・2020（令和2）年8月18日（火）に①のガイドラインについて説明を行うためオンラインによる会議を実施した。
 - ・2020（令和2）年12月17日（木）に2021（令和3）年度の活動手法についての説明を行うためオンラインによる代表者会議を実施した。会議終了後に勉強会として、弁護士で理事の浅野明子氏の「2019（令和元）年改正動物愛護管理法について」と題した講演を開催した。

- ③ 協力会員のボランティア保険への加入
協力会員1,423名の加入手続きを行った。

- ④ 協力会員の募集と登録業務に協力をした。

（2）その他の団体

次のとおり、支援対象事業を決定し、支援を実施した。

団体名	所在地	分野	支援金額
わうくらす	和歌山県海南市	飼い主教育・公衆衛生・災害時対策・ペットとのふれあい・その他	443,820円

また、2021年度支援対象事業の選考を行い、以下のとおり支援候補を選定した。

団体名	所在地	分野	支援金額
和歌山県愛護教室プロジェクト	和歌山県海南市	飼い主教育・公衆衛生・災害時対策・ペットとのふれあい・その他	281,000円
一般社団法人マナー二	東京都港区	若年層向けペットとのふれあい講習	298,767円

2. その他本協会の目的を達成するために行った事項

(1) 関係団体との情報交換等の実施

関係団体と適正飼養の普及啓発事業に関する情報の交換を行った。

(2) 「第32回日本動物児童文学賞」への審査協力

(公社)日本獣医師会が、次代を担う子どもたちのために人と動物の共生等を扱った文学作品を世に送り出すことを目的に設置した児童文学賞に対して、本協会から役員が審査員として協力をした。

(3) 協会の理事及び職員が関係する外部会議及び行事

会議等の名称	関係者・出席者
東京都動物愛護管理審議会	協会本部職員
動物愛護週間中央行事実行委員会	協会本部役員・職員
東京都動物愛護推進協議会	協会本部役員
動物ID普及推進会議(AIPO)	協会本部役員
日本動物児童文学賞審査委員会	協会本部役員
各指定校の評議員会等	協会本部役員
環境省中央環境審議会動物愛護部会	協会本部役員
愛玩動物看護師カリキュラム等検討委員会及びワーキングチーム	協会本部役員
マスコミ取材対応等	協会本部役員・職員

(4) 各種行事への後援等

名称	開催時期	開催地	主催
JAHA年次大会2020・オンライン	7月～	オンライン	公益社団法人日本動物病院協会
WJVF第11回大会 ※コロナにより中止	7月10日～12日	大阪府	(一社)日本臨床獣医学フォーラム・ (公社)日本動物病院協会
令和2年度動物愛護週間行事(沖縄県)	9月20日～26日	沖縄県	沖縄県

名称	開催時期	開催地	主催
令和2年度 動物愛護週間行事（福岡県）	10月4日、11月24日 ～12月7日	福岡県	福岡県
動物介在プログラム 基礎講習会	10月24日～25日	東京都	（一社）優良家庭犬普及協会
神戸市動物愛護フェスティバル	11月21日～29日	兵庫県	神戸市動物愛護フェスティバル実行委員会
第9回ペットとの共生推進協議会シンポジウム	11月1日	オンライン	ペット共生推進協議会
第3回ペットインテリア展・ペットサローネ	11月11日～13日	東京都	一般社団法人アジア家具フォーラム

3. 組織、会員、会議等

3-1 組織

(1) 役員

<（常）＝常勤 >

役員 (13名)	代表理事(1名)	会長	東海林克彦
	業務執行理事 (3名)	副会長	安部正弘
		常務理事	水口修（常）、武田和彦
	理事(7名)	浅野明子、荒井延明、池田毅、石島 力、 対馬美香子、平山淳、光永謙太郎	
監事(2名)	藤澤省二、岡崎留美		

(2) 相談役、顧問

相談役(2名)	鈴木松衛、椎野雅博
顧問(10名)	北村直人、臼井玲子、斉藤久美子、大島誠之助、川口和清、鈴木 登、天川九二夫、畠山雅子、福田真由美、山田広美

(3) 委員会

① 愛玩動物飼養管理士認定委員会委員

委員長 林谷秀樹

委員 荒井延明、臼井玲子、対馬美香子、中嶋建介、長嶺隆、藤井仁美、
山崎恵子、若生謙二

② 実践的飼育方法教育委員会委員

委員長 林谷秀樹

委員 臼井玲子、藤井仁美

③ 調査研究助成委員会委員 (委員名は非公開)

(4) 事務局役職員数

(単位：人)

区分	年度当初	増加	減少	3月末
役員(常勤)	1	0	0	1
職員	8	0	1	7
計	9	0	1	8

<その他の職員>

※ 派遣職員1名(増減なし)

3-2 会員数

単位：人・団体数

会員数		2020年度末	2019年度末
正会員	個人	71	72
	団体	6	7
個人一般会員		11,978	11,818
団体一般会員		29	27
名誉会員		0	0

3-3 会議の開催状況

① 社員総会

会議名	開催日	審議事項
第11回定時社員総会	6月4日(木)	2019(令和元)年度事業報告の件、2019(令和元)年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録の件、定款の一部改正の件、理事・監事等に対する報酬等の支給の基準の一部改正の件、理事及び監事の選任の件

② 理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回定例理事会	5月11日(月)	令和元年度事業報告、決算及び監査報告について(社員総会附議事項)、業務執行報告について、定款及び役員関係規程の改正について、役員及び認定委員等の改選について、新型コロナウイルス感染症対策について
第2回定例理事会	6月4日(木)	役職理事の選定について、正会員の入会について、役員の報酬及び賞与について、上級愛玩動物飼養管理士の更新者と新規登録者の認定
第3回定例理事会	7月2日(金)	愛玩動物飼養管理士認定細則について、認定連携団体の活動について
第4回定例理事会	10月29日(木)	中間決算及び上半期事業報告について、愛玩動物飼養管理士スクーリングについて、認定連携団体の委託費について

会議名	開催日	審議事項
		て、愛玩動物看護師対策について、特定費用準備資金について、事務局規程の改正とリスク管理規程について
第5回定例理事会	3月18日（木）	愛玩動物飼養管理士認定試験（2月）の合否判定について（追認）、愛玩動物看護師法制定に関わる愛玩動物飼養管理士の対処について、令和3年度事業計画及び予算について、令和3年度定期社員総会の開催について、連携団体の認定・適正飼養推進プロジェクト支援について、調査研究助成について、規程類の改正について、業務執行報告について

③ 業務執行理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回業務執行理事会	4月9日（木）	新型コロナウイルス対策に関連する諸問題について
第2回業務執行理事会	4月23日（木）	令和元年度決算報告（事業報告、財務諸表）、業務執行報告について、定款及び役員関係規程の改正について、理事及び認定委員の改選について、新型コロナウイルス感染症対策について
第3回業務執行理事会	5月11日（月）	総会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連して、地方協会（連携団体）の代表者会議について、法改正への対応について

会議名	開催日	審議事項
第4回業務執行理事会	6月4日(木)	役員の報酬及び役職員の賞与について、職員の(令和2年夏期)賞与支給額について
第5回業務執行理事会	7月9日(木)	緊急事態宣言発令時における認定試験のあり方について、次年度以降のスクーリングのあり方について、連携団体について、動物専門学校に向けたeラーニング教材の作成について
第6回業務執行理事会	8月6日(木)	緊急事態宣言発令時における認定試験のあり方について、動物専門学校に向けたeラーニング教材の作成(看護師対策)について、eラーニング教材を作成依頼する際の謝金(案)について、全国連携団体の代表者とのオンライン会議について、(商品販売)取引契約に関して
第7回業務執行理事会	9月17日(木)	中間決算の見込みについて、愛玩動物飼養管理士スクーリングについて、認定連携団体の委託費について、愛玩動物看護師について、特定費用準備資金について、文書管理規程・リスク管理規程について、正会員会費の税額控除について、理事会の議題について
第8回業務執行理事会	10月15日(木)	中間決算・事業報告について、認定連携団体の委託費について、事務局規程の改正・リスク管理規程の新設について、認定細則の改正について

会議名	開催日	審議事項
		て、理事会の議題について、 コロナ禍の愛玩動物飼養管理 士スクーリングと認定試験、 人事について
第9回業務執行理事会	11月19日(木)	愛玩動物飼養管理士認定試 験・スクーリングについて、 愛猫飼育スペシャリストにつ いて、冬季賞与について、愛 玩動物看護師について、連携 団体における今後の役員報酬 の在り方について
第10回業務執行理事会	12月3日(木)	令和2年度11月認定試験の結 果について、新スクーリング (オンライン恒久化)の対外 的発表時期について、12月17 日に開催される連携団体全国 会議
第11回業務執行理事会	1月28日(木)	次年度予算及び事業計画につ いて、連携団体について、愛 玩動物飼養管理士認定試験(2 月)について、2021(令和 3)年度人事
第12回業務執行理事会	2月9日(火)	事業計画及び予算について、 愛玩動物看護師について、上 級愛玩動物飼養管理士につい て、適正飼養推進プロジェクト 支援・調査研究助成につい て、連携団体について、役員 報酬について、3月18日開催 の理事会の次第について
第13回業務執行理事会	3月9日(火)	令和3年度事業計画及び予算 について、愛玩動物看護師に ついて、上級愛玩動物飼養管 理士について、連携団体につ いて、ペットセミナーについ

会議名	開催日	審議事項
		て、適正飼養推進プロジェクト支援・調査研究助成について、規程改正について、理事会の議事及び定期社員総会の開催について
第14回業務執行理事会	3月30日（火）	愛玩動物看護師について、連携団体との連携の在り方について、（公社）愛玩動物協会ペットセミナーサイトの立ち上げについて

④ 各種委員会

委員会名	開催日	審議事項
第1回愛玩動物飼養管理士認定委員会	8月20日（木）	教本点検等の担当について、2021年度教本の点検について、新型コロナウイルス感染症対策について、課題報告問題並びに認定試験問題の点検について、オンラインスクーリングの科目等について
第2回愛玩動物飼養管理士認定委員会	10月9日（金）	コロナ禍における認定試験問題について
第3回愛玩動物飼養管理士認定委員会	11月26日（木）	認定試験（11月）の合格者の決定について、2021（令和3）年度の課題報告問題と認定試験問題について
第4回愛玩動物飼養管理士認定委員会	3月4日（木）	認定試験（2月）の合格者の決定について、2021（令和3）年度の教本の点検について

Ⅲ 事業報告の附属明細書

2020（令和2）年の事業報告の附属明細書は、補足すべき重要な事項がないことから、作成をしていない。

以上